

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-IV-12

4-IV-12

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	宿泊施設等でのホスピタリティの向上
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡観光交流機構
事業(施策)名	12 飲食店・土産物店の観光案内機能充実・ホスピタリティ向上の取組	関連団体	新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、佐渡市観光振興課、佐渡市農業政策課、県観光協会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 多様な来訪者への対応に向けて、飲食店・土産物店でのホスピタリティの向上を図る。 【事業内容】 ○ 飲食店・土産物店の従業員及び関係者を対象に、ホスピタリティの向上に向けた研修会の開催や関連情報の提供など各種啓発活動とともに、関係者間の情報交換の機会拡充を図る。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 外国人観光客へのPR周知をする(国内観光客を含む)。		
これまでの取組実績	○ 地元の学校と連携した観光ツアー造成のワークショップ等開催 ○ 地域ワークショップ等開催 ○ 新潟市内の学校へ佐渡市の学校の取り組みをオンラインを通じて発表 ○ 観光地域づくりマネージャー育成研修実施		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● ゲストハウス経営者に対して意見交換会を実施し、より幅広い来訪者のニーズに対応できるようにする 【R6年度実績】 ● ゲストハウス経営者に対して意見交換会を2回実施。それぞれの取り組み事例や悩み、解決対策などの共有を行った。また、ネットワーキングができることで、小規模運営者の相互サポートの機会をうむことができた。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [(A) ・ B ・ C] ◇ 予定のゲストハウス交流会を開催でき、参加者からの満足度も高いものを実施することができた。この取り組みを通じて今後の別事業への展開が期待できる。		
課題	■ 小規模の事業者が多い佐渡において、今回のようなネットワーキングができる機会というのは有効である一方、独自の路線を誇示したり、クルーピングが確立されているため、進め方には慎重を期す必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。